タクシー・ブルース（1990）

TAXI BLUES
TAKSI-BLYUZ

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ソ連／フランス
色彩 Color
時間 110分
初公開日 1991/01/19
公開情報 ＫＵＺＵＩ＝ブランディローズ

【キャッチコピー】
モスクワが友情を語りはじめた。

【解説】
　ペレストロイカ以前とは全く作風の変わったソ連映画。タクシー運転手のシュリコフは、乗せた若者に金がないので取ってくると言われて待っていたが、待てど暮らせど彼は帰ってこなかった。騙されたと知った彼は、その若者を捜し出す。若者はサックス奏者のリョーシャといい、今は金がないから待ってくれという。怒った彼はリョーシャのサックスを取り上げてしまう……。シュリコフは、労働は価値あるものだというモスクワの代表的思想の持ち主で、リョーシャの様な自堕落なミュージシャンを嫌っていて、リョーシャは自由奔放に生きる“西側”の思想の持ち主という相対するキャラクターとして設定されており、まさにペレストロイカについての物語として見て取れる。しかし映画はただ単にそういった図式性のみに陥ることなく、非常にユニークな男同士の人間ドラマとしてもきちんと描いている。

【クレジット】

監督	パーヴェル・ルンギン	Pavel Lungin
製作	マラン・カルミッツ	Marin Karmitz
製作総指揮	ピエール・リヴァル	
脚本	パーヴェル・ルンギン	Pavel Lungin
撮影	デニス・エフスチグニェーエフ	
音楽	ウラジミール・チェカシン	
出演	ピョートル・マモノフ	
	ピョートル・ザイチェンコ	
	ヴラジミール・カシュプル	
	エレナ・サフォノヴァ	Elena Safonova
	セルゲイ・ガザロフ	Sergei Gazarov

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.